

サマーレビュー2014 調書

1 部局名(課名)	危機管理監 (危機管理課)	2 優先順位	部局 2
3 事項名	災害情報伝達手段の整備について		
4 目的	主たる情報伝達手段であるアナログ同報無線をデジタル化し、再整備することにより、災害時の迅速な情報伝達を実現することを目的とする。		
5 現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ●市民への災害情報伝達手段として、同報無線、戸別受信機、登録制メール(ホットメール)、緊急速報メール、FMハロー、ホームページ、ブログ等を活用している。 ●同報無線については、以下の課題があり再整備の必要が生じている 整備から30年が経過していることによる老朽化、メーカーの部品生産終了。「スプリアス発射の許容範囲改定(総務省)」に伴い、平成34年11月30日までに送信機を新基準適合機器へ換えなくてはならない。 		
6 政策、施策の方向性	<p>同報無線について、以下の見直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波方式 ・アナログからデジタルへ変更する。 ●設置場所 ・緊急性の高い災害(津波、河川氾濫、土砂崩れ等)が発生する場所に再配置する。 ・高性能スピーカーを活用し数を減らす。 ※平成27年度の基本調査により決定予定 		
7 関係法令等	電波法施行規則第2条 無線設備規則別表第3号		
8 スケジュール(いつ、何をやるか)	平成27年度 基本計画 平成28年度 実施設計 平成29~30年度 I期工事 平成31~32年度 II期工事 平成33~34年度 III期工事		
9 他都市等の参考事例			
10 過去のレビュー等での審議経過	なし(新規提案) あり その他	具体的内容	
11 サマーレビューで審議、確認したい事項(該当項目を□→■)	事業等の新規提案 既存事業の見直し その他	具体的内容 当該事業の方向性	

<p>12 レビューの 論点 (担当ヒアリングで 確認、実施後記 載)</p>	<p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害情報伝達手段のあり方について ・ 同報無線のデジタル化について 	
<p>13 サマーレビ ュー結果 (実施後記載。該 当項目を□→■)</p>	<p>提案どおり進める 提案内容を一部見 直して進める 再度、調査研究等 を行い検討 その他</p>	<p>具体的内容</p> <p>本市における災害情報伝達手段について、エリアごとにそれぞれ最適な機器の配置や効果的な方法等を検討する。</p>
<p>14 その他</p>		